

平成28年度 第1回オプション行事
テーマ：小野家住宅と林地区散策（行程：約3km）
（小野家住宅・小野家鷹場杭・林神社・他）

日時：
平成29年1月22日（日）
13時00分集合

集合場所：
小野家住宅

参加者：14名

散策順路：小野家住宅⇒林神社⇒小野家鷹場杭⇒松林寺⇒八雲神社⇒林小バス停そばの庚申塔



＜小野家住宅＞国指定重要文化財

構造は木造平屋建ての入母屋造り、間口が14メートルある茅葺屋根の建物で、軒がとても低く、自然のままの曲がった雑木を柱や梁に使っています。内部は入って正面に土間があり、土間の左側には囲炉裏のある板敷の広間、さらにその奥に畳敷きの8畳間と板敷の4畳間を配しており、当時の典型的な民家の間取りとなっています。



＜林神社・稲荷神社＞

林神社は、所沢市林にある八幡神社です。明治維新後、十代神社と改称、明治5年村社に列格、明治40年には字甲下ノ原の山祇神社・字愛宕前の稲荷神社の二社を本殿内に合祀、村名をとって林神社と改称したといひます。



＜鷹場杭（小野家）＞
林1-187
杭の表記：是従東西南
尾張殿鷹
サイズ：15.0×15.0
×65.3cm

＜尾張藩の鷹場の鷹場杭＞ 尾張藩の鷹場の周囲には総数83本の杭が立っていた。杭には「従是口尾州殿御鷹場」と記されている。口の所には東西南北に1字または2字乃至3字が入っている。上記のような標記、杭の向き及び立っている場所、次の杭への振り出し、杭の預りの村名、そして次の杭との間にはどんなものがあるのか、次の杭までの距離などを『書上帳』に克明に書き上げている。



＜松林寺＞

曹洞宗寺院の松林寺は所沢市林2-147にあり、長清山と号します。吟國（承応2年1653年寂）が開山となり創建したといひます。武蔵野三十三観音霊場15番、狭山三十三観音霊場30番です。文政3年（1820）の銘ある庚申塔が西門側にあります。



＜八雲神社＞ 所沢市林2-463

最近立て直された神社のようです。地元の人には今でも「お天王様」と言われ、毎年7月下旬のお祭りのときは、近くにある、地域の中核となっている林神社からお神輿がでますが、この八雲神社にてご神体を乗せて町内を行くとのことです。本殿の左に神明宮の石祠が合祀されています。

ブログより



＜庚申塔（舟形）＞ 林2丁目484 寛政4年（1792）134×42cm
塔部（右）寛政四壬子年7月吉日
（左）武州入間郡林村 庚申待講中
台石部（右）右 江戸道
（左）左 川越海道 新川岸 と刻まれています。



参加者のコメント

先日は林地区の散策有難うございました。同じ所沢でも知らない所が一杯ですね。のどかで良かったです。とてもよく案内して頂いたのにお礼も言わずさっさと歩いてしまって申し訳ない事をしてしまいました。くれぐれもよろしくお伝えください。

今回の例会は、今年の総会の時から話が始まります。総会の講演を依頼した伊藤さんから鷹場杭の話が出て市内に残存する杭が2本ありその2本とも、民家の敷地内にあり常時見学が不可とのことで、伊藤さんから文化財保護課倉持さんへ話をしてもらい、倉持さんから所持者の小野さんと連絡を取ってもらい今回の見学実施の運びとなりました。また毎週日曜日が重文小野家住宅の公開日のため、1月22日を例会として決めました。予定にはなかった突然の例会にも拘わらず多数の方の参加ありがとうございました。今回の林地区の案内をお願いしました倉持さんの案内も素晴らしいもので、無事に終わりましたが最後に私が足の痛みでコケまして駅まで同行できず皆様に迷惑を掛けました。尚、小野家住宅と鷹場杭の所持者の小野さんとは関係がありません。 居田 記